

青少年グループ

井上・大野・木本
陣出・田中・山田・渡辺

新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

青少年 = 満16歳～20歳

いろいろなコトが
周りにイッパイ!!!

カラオケ、携帯電話、部活、のの世界、学校、反抗期、お酒の誘惑、バイト、


新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

問題現象

<青少年の実態>

- 夢や目標が持てずにいる
- 放課後の居場所がない
- コミュニケーション不足
- 性犯罪や薬物犯罪の被害



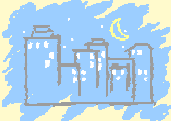
新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

問題現象

<社会現象>

- ニートの急増
- 社会問題に無関心な大人



<新宿区の現状>

- 高校・大学と地域の繋がりが弱い
- 次世代育成の主たる対象外

新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

ライフサイクル



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

青少年 = 満16歳～20歳
= 大人になる一歩手前

(市民予備軍 Junior Citizen ジュニア・シチズン)

社会的責任を自覚し、自ら選択、決断し、行動できる市民

自律した市民同士のパートナーシップの連鎖

持続可能な調和のとれたネットワーク社会

新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

新宿区で実践する意義

- ◆ **都レベルのトップダウンと区レベルのボトムアップの連動**
地域でできること、広域行政でできること
- ◆ **区地域内での社会学習の機会づくり**
最も身近な地域社会を通して学べること
- ◆ **「新宿」から全国への波及効果**
都内でのモデルケース発信



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

具体的な改善策

- ◆ **門戸を開く**
アイデアの採択や実施の委託などを通して、青少年自身や市民に参画の機会を提供する。
- ◆ **バックアップ体制**
上記実施の際に、渉外関係や広報関係等の後方支援を行う。そのための体制を整備する。
(規制の緩和、情報公開、各部署の横断的な協力・管理体制等)

全てのジャンルに共通する区と市民の協働関係のあり方

新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

①ジュニア市民会議

(目的)

社会の問題の解決策を自ら考え実践する機会を提供する。

- 体験を通じた自己発見や成長
- チームワークの体験
- コミュニケーション力の向上
- 社会の一員としての自覚



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

①ジュニア市民会議

区は下記を提供し、運営支援を市民に、企画実行は主体者である青少年に委ねる。

- **実行委員会づくり**
学生、市民サポーター、教師、区職員等
- **広報支援**
募集、会議や事業報告のツールの提供
- **会場提供や予算補助**
- **プロのアドバイザーの配置**



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

①ジュニア市民会議

(例)

- 青少年の居場所づくり
(廃校予定地などの活用案)
- 青少年向けの犯罪防止キャンペーン
- 新宿オール・ユース・イベント
- まちづくりの提言
- ジュニア・オンブズマン



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

②世代間交流

(目的)

青少年の年代を中心に、前後の世代同士が協力し、繋がりを強めながら成長し合う。

(例)

- 教職志望大学生による学習支援
- カウンセリング専攻の大学生による「新宿かけこみ寺」(相談コーナー)
- インターンシップ(職業体験)



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

③市民・学校・行政・企業の連携

(目的)

青少年の能力開発の機会を提供する。

(例)

- 新宿ウォールアート
- 大学の街なか実践研究
- 高校評議会
- 高校の開放



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth

Thank you !



新宿区民会議 第一分科会

青少年 Youth